

哲風会通信

2018. 10. VOL82

朝夕はヒンヤリすることも増えてきました。特別暑い日もなければとても過ごしやすい時期ですね。10月ならではのレジャーを楽しむにも適した季節になりますね。

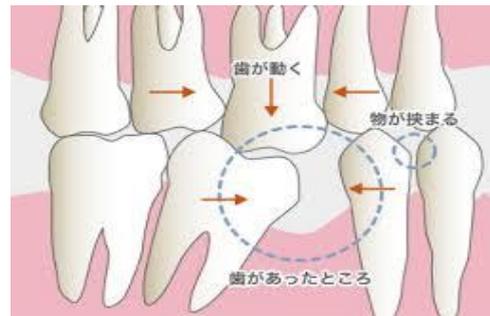


歯を失った時

歯は上下合わせて28本(親知らずを除く)がバランスよく並び、物を噛んだり砕いたりしています。だからこそ28本生えそろうようになっているのです。歯を1本抜けたままの状態でも長い間放置すると、歯が動いてしまいます。すると噛み合わせに影響してしまいます。

また、抜けたまま放置するとお口の中だけではなく、様々なトラブルの原因になります。

- ・見た目が悪い
- ・歯並びが悪くなる
- ・歯ぐきが痩せ、顔が変形することもある
- ・しっかり噛めないことで胃腸への負担がかかる
- ・うまく発音できない
- ・全身のバランスに影響を及ぼす
- ・脳の活性化に影響する



歯を失った時の3つの治療法

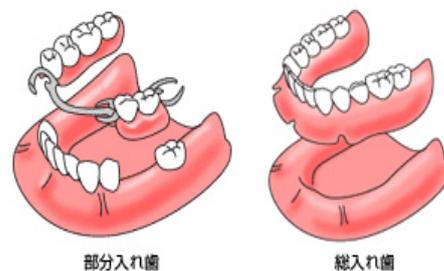
ブリッジ

失った歯が1~2本で、その前後に健全な歯がある場合は、その歯を利用して橋を渡すようにダミーの歯を作って噛めるようにします。メリットとしては、固定式で違和感がなく自分の歯に近い感じで噛むことができます。デメリットは、前後の歯を削らなければなりません。健康な歯でも削る必要があります。



義歯(入れ歯)

失った歯の代わりとなるものです。歯が1本もない人の為の総入れ歯と、部分的に歯が無い人の為の部分入れ歯があります。メリットとしては、健康な歯を削らなくてもいい事、ブリッジでは適用できないような大きな欠損にも有効です。また、費用も安く済みます。デメリットは異物感がある事、可撤式(取ったり外したりできる)のため完全には固定できません。



インプラント

歯の無い部分に人工歯根を埋め込んで、その上から人工歯を装着することで歯の機能を回復させます。メリットとしては、異物感が無い為、使用感装着感の満足度が高くなります。デメリットは、保険適用にならない為金額が高いことと、手術が必要になります。



治療法にはそれぞれメリット・デメリットがありますが、置かれている状況や口の中の環境にあわせて選択できればと思います。自分に合った治療法を一緒に探していきましょう。ご相談ください。

今月の通信担

先日、セミナーに参加してきました。テーマは「鼻呼吸と口呼吸」。鼻呼吸の場合、吸い込んだ空気が鼻腔を通る間に鼻毛や粘膜がほこりや細菌、ウイルスなどの異物を除去してくれてフィルターの役割をしてくれます。口呼吸は、乾燥した冷たい空気がフィルターを通さず、喉の粘膜や気管、肺などにそのまま触れてしまいます。口呼吸では鼻呼吸ほど異物を取り除けないので免疫力が低下して体に様々な影響がでてくるそうです。鼻呼吸には免疫力アップや風邪をひきにくく、呼吸器疾患の改善などがあるというお話でした。今の時期は風邪などで鼻がつまりやすく、口呼吸に頼ってしまいがちですが、免疫力を高めるためにも口呼吸ではなく鼻呼吸を意識してみましよう。

医療法人 哲風会
むさしデンタルオフィス

〒010 - 0912
秋田市保戸野通町4 - 8
TEL:018-853-8214
フリーアクセス:0800-800-8461

医療法人 哲風会
ちづ歯科クリニック

〒018 - 1605
南秋田郡八郎潟町川崎字昼寝
233 - 1
TEL:018-875-2801